

会 議 録

1 会議の名称

上越市防災会議

2 議題（公開・非公開の別）

議題 1 上越市地域防災計画の見直しの基本方針について（公開）

議題 2 今後のスケジュールと進め方について（公開）

3 開催日時

平成 24 年 10 月 22 日（月）午後 1 時 30 分から 2 時 30 分まで

4 開催場所

上越商工会議所 大ホール

5 傍聴人の数

0 人

6 出席した人（傍聴人を除く）の氏名（敬称略）

- ・ 上越市防災会議委員：別添出席者名簿のとおり（43 人中 38 人出席（代理出席含む））
- ・ 事務局：（防災計画課）笠原課長、大島副課長、風間室長、笠松係長、水澤係長、
内田主事、阿部主事
（防災危機管理課）今井課長、栗和田係長

7 発言の内容

(1) 会長挨拶

（市長）

みなさま本日は大変ありがとうございます。

今日のように秋の日差しの中で、澄みわたる高い空がある日があるが、急に時雨れて雨模様にもなり、それが交互に来てだんだんと秋も深まっていきます。街路樹が色づけば、まちが完全に秋の中に包まれることになり、短い秋ですが、もう少し気持ちを楽にしながら楽しみたいという気分になるこの頃であります。

本日は、お忙しい中、上越市防災会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから災害対策、そして防災対策に深い理解をいただきながらご協力、ご支援いただいていることに、この場をお借りして心から御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

昨年は東日本大震災があり、その大震災の後、津波と地震そして原子力災害が大きく

とりざたされ、それらに対する対応が緊急の課題ということで、地域防災計画を作りながら市民のみなさんに安心を届ける。そのなかで市民と一緒に協力しながら対応する取り組みをしたいと思い、進めているところであります。

国は津波・原子力災害に対する防災基本計画を整備し、新潟県でも地域防災計画でその内容をくみ取り、修正を行っており、国・県の動向がはっきりしてきましたので、市町村でも上位計画を基にしながら地域防災計画を練り直していくこととなりました。

地震の後も、雪や大雨、板倉区国川地区の地滑りと自然災害が多い状況であり、地域防災計画で考えなくてはなりません。上越市は東京都の約半分、東京 23 区の約 1.5 倍の大きさがあり、自然災害も非常に多く、その対応も地域防災計画に含める必要があります。

そのような中で今年度の予算で優先順位が高い施策の 1 つとして「災害に強いまちづくり」を進めています。地域のみなさんに安心してもらい、いざという時に自分の身を守ってもらいながら、市が地域防災計画を基に行動し市民が助かる、良かったと言ってもらえるような状況をつくるために上位計画と整合を取りながら進めています。

今日は地域防災計画の見直しに向け、概要、中間的なことを報告いたします。忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。このような会議は、成案ができた時点で 1 回だけ開催し、「決まりました」と報告するのが一般的ですが、今回はそうではなく、中間で報告し、みなさんの意見をいただきながら進める作業を考えており、ご意見をいただきながら、良いものを仕上げていきたいと考えています。

本日はご出席いただき本当にありがとうございます。

(2) 委員紹介

事務局が各委員を紹介

(3) 議事

(市長)

それではただ今から、議事に入ります。

最初に、議題(1)「上越市地域防災計画の見直しの基本方針について」であります。

事務局、説明をお願いします。

議題 1 上越市地域防災計画の見直しの基本方針について

(永野防災危機管理部長)

資料1により説明

(市長)

ただいまの上越市地域防災計画の見直しの基本方針について、ご意見、ご質問をお受けいたします。

(廣田委員)

津波対策について、当社では各駅に海拔表示を設置している。津波の避難誘導は柿崎駅及び直江津駅などが対象となっているが、津波の情報伝達体制について私ども交通営業者に対してどのように情報提供されるのか、わかる範囲でお聞きしたい。

(市長)

ありがとうございました。それでは、ただ今のご質問について、事務局、回答を願います。

(笠原防災計画課長)

基本的には新潟県が集約し、情報が流れるようになっております。また、これまで当市とJRさんとやり取りしているルートや方法も基本的には変わりないと考えております。具体的なものは今後作成する「津波災害対策編」の中で協議していきたいと考えています。

(市長)

他にご意見、ご質問はございませんか。

ないようですので、計画の必要性、方向性、基本的な方針について、ご説明させていただいた資料のとおり進めさせていただくということで、ご同意いただけるでしょうか。

(異議なし)

(市長)

異議がないものと認め、事務局案のとおり進めさせていただきます。ありがとうございました。

次に、議題2「今後のスケジュールと進め方について」に移ります。事務局、説明をお願いします。

議題2 今後のスケジュールと進め方について

(笠原防災計画課長)

資料2により説明

(市長)

ただいまの今後のスケジュールと進め方について、ご意見、ご質問をお受けいたします。

(質疑なし)

(市長)

ご意見、ご質問がないようですので、今後のスケジュールと進め方について、ご説明させていただいた、スケジュールのとおり進めさせていただくということで、ご同意いただけるでしょうか。

(異議なし)

(市長)

異議がないようですので、このように進めさせていただきます。

(市長)

今日の審議の内容は終了しましたが、事務局の方で、津波対策、原子力対策について県や市で課題となっているものがあればお願いします。

(笠原防災計画課長)

津波災害対策は新潟県の想定に基づいて、地域に入りハザードマップの作成に入っています。地域の皆さんと取組を進めながら、さまざまな課題を抽出する作業を行っており、委員の皆様にも検討をお願いする具体的なものも出てくると思います。

原子力災害対策については、広域的な対応をどうするのかという問題があります。その中で、スクリーニングの問題、安定ヨウ素剤の服用をどうするのか。また、どのようなタイミングで市民を逃がせばいいのか、原子力防災指針の中で検討されています。広域的なものであり、避難をする時に、まずは原発がある柏崎、刈羽の皆さんから逃げ、風向き等を見ながらどのように逃げるのか決まります。

現在、市町村による原子力安全対策に関する研究会でも検討しておりますが、新潟県とも対策を詰めている中で問題となってくるのが、どうやって多くの市民の方を早く広域的な避難を実現するかということでもあります。情報伝達や交通手段の確保、交通規制等をどのようにやるのかなども課題となります。これから様々な課題が具体的になる中で、それぞれの役割の中で皆様をお願いしたいと考えています。

これらは、防災業務計画とも関係するので、地域防災計画にどのようなものを反映したらよいか、今後の作業過程の中で、ご意見、ご指導いただきたいと考えています。

(市長)

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問はございますか。

(質疑なし)

(市長)

ご意見、ご質問がないようですので、次のその他に移ります。事務局から説明をお願いします。

(4) その他

平成 24 年度上越市総合防災訓練の実施について

(今井防災危機管理課長)

資料 3 により説明

(市長)

ありがとうございました。災害の教訓を踏まえた中で、実効性のある訓練を目指しておりますので、よろしくお願いします。

ただ今の説明について、ご意見、ご質問はございますか。

(質疑なし)

(市長)

11 月 4 日は関係機関にご協力をいただきながら、実りのある防災訓練を行いたいと思います。ご支援、ご協力よろしくお願いします。

以上で、本日の議題は終了いたしました。本日はお忙しい中、お集まりいただき、大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

8 問合せ先

防災危機管理部 防災危機管理課 危機管理係 TEL : 025-526-5111 (内線 1525)

E-mail : bousai@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。